



農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化

中間農業地域

やきやま いろいろかし
八木山環境保全委員会（飯塚市）

- 本地域は、水資源に恵まれた高地に位置し、気温差を利用した良質な米や花卉を生産している。
- 水稲は減農薬減化学肥料栽培に取り組んでおり、今後も良好な農地環境の維持及び環境負荷の軽減に配慮した農業の生産方式を維持・普及させていくことが必要である。
- 地域住民との共同による環境維持の活動が盛んである。

活動開始前の状況

- 多面(旧農地水)事業をする以前より地域の活動が活発なところであり、小学校の児童及び地元住民とともに農作業及びそれに端を発する伝統奉納行事を行っていた。また地域内で住民と学校などの団体との交流が行われていた。

取組内容

- 年間を通じて小学校の児童たちや地域住民とともに田植えや稲刈りなどの体験学習をおこなっているほか、児童が稲刈りを行った後の藁を使用し、小学校にある相撲の土俵の俵を年長者から習いながら編み、そうして作られた土俵で子どもたちの相撲大会や相撲甚句の披露が行われ、また同じく奉納行事である獅子舞やその際に必要な横笛の披露や練習も併せて行われており、小学校や地域住民とともに伝統文化の継承が行われている。



農作業・縄づくり体験、土俵作り



奉納行事である獅子舞の練習



【R3地区概要】

- ・ 認定農用地面積46ha
(田39ha、畑7ha)
- ・ 資源量 水路(開水路)16.3km
農道7.2km ため池4箇所
- ・ 主な構成員 農業者、小学校、
老人会、消防団、自治会
- ・ 交付金 約3百万円
(農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化))

取組の効果

- 多面の事業による農作業やそれにかかわる伝統行事を地域の小学校及び住民とともに行うことにより、伝統文化の継承を通じてコミュニティ機能が向上するとともに、地区内だけではなく地区外から訪れる住民との交流も新たに生まれる効果があった。



農作業や伝統文化継承による交流

